

「サナギから羽化へ (4)」

お茶の水女子大学附属小学校 田中 千尋

適切な場所ではないところでサナギになってしまった場合、「サナギホルダー」を作って、別の場所に移したほうが良い。羽化の成功率がずっと上昇する。今までは、細い針金などでサナギを支えていたが、今回は、サナギ自身の糸をそのまま使ってみた。



上部の糸塊は、セロテープで剥ぎ取る。サナギを支えている糸が切れてしまわないように慎重に。この時は、サナギが激しく暴れていた。



剥し終ると、こんな状態になる。背中側から支えている太い糸は保持され、尻の先端の糸塊も残っている。この尻の先端の糸が、あとから厚紙に固定する時に、非常に役立つ。



次に厚紙(板目紙)に固定する。できるだけ元のサナギの姿に近くなるように固定することが大切だ。まずは尻の先端を固定する。サナギの本体ではなく、もともとサナギを支えていた糸塊をセロテープで固定する。セロテープはV字型に貼るのがコツだ。



尻側がうまく固定できたら、背中側から回る2本の糸を固定する。羽化が成功するかどうかは、この時に厚紙との角度をうまく調整できているかで決まる。



できた「サナギホルダー」は、裏面に磁石をつけて、黒板やホワイトボードに「掲示」しておくが良い。蛹化した日付も書いておくが良い。